

令和5年3月30日

教育委員会教育長 様

札幌東高等学校長

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 自己有用感を持たせるための実効性ある教育活動の推進
(2) 新学習指導要領を踏まえた教育内容の検討（カリキュラム・マネジメントの促進）
(3) 主体的な学習態度の育成（基本的生活習慣や自学自習習慣の確立）
(4) 協力・協働体制の確立（チームとして機能する組織体制の構築）
(5) 生命を尊重する心と倫理観、規範意識の醸成
(6) いじめの未然防止・早期発見・早期解消に向けた取組の充実
(7) 教職員の服務規律の保持徹底と働き方改革の推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・基礎・基本の内容の徹底により自学自習に求められる力や姿勢を育成できた。個々の力を一層伸長させ、協力して解決する力の育成をするため、多様な指導・評価方法が必要 ・「高大連携講座」により、生徒の興味・関心、思考力・判断力・表現力を高めることができたが、教科等横断的な視点から幅広く問題解決する力を育成するために、「総合的な探究の時間」の内容の充実が必要	○取組は概ね良好である。 ・基礎基本の力を育成するために、きめ細やかな個人指導や、興味・関心を刺激する教育活動が行われている。個々の力の伸長と協働的な姿勢の育成を期待する。 ・社会で即戦力として活躍するため、「学校の勉強」という枠を超えて、より実践的な教育活動を期待する。
改善方策	・考査以外の評価資料や生徒自己評価等を工夫・改善し、個別最適・協働的な学びを推進 ・他校における「総合的な探究の時間」の実践例を収集し、本校の課題解決に向けた教育課程を編成 ・ICTを活用した授業等の実践例を収集し、生徒が主体的に活用できるよう校内研修を実施	
生徒指導	・日常指導に加えて、外部講師等の講演により、社会性やマナー意識が高まりつつある。協働的な集団となるため、コミュニケーション能力の一層の向上が必要 ・インターネットやSNS等に係る指導により、ネットトラブルは発生しなかったが、端末機器使用に係るルールの明確化が必要	○取組は極めて良好である。 ・社会性やマナー意識の向上に向けて、丁寧に指導が行われている。挨拶、臆せず他者に向けて声を出す力、質問・発表する力など、コミュニケーション能力の育成に期待する。 ・外部組織の支援も含めて、具体的な活用場面における実践的な指導を期待する。
改善方策	・挨拶、相手の立場や感じ方に配慮した言動、適切に質問したり説明したりする力など、コミュニケーション力を育成する機会や場面の充実 ・社会集団生活における自他尊重の意識向上と情報・情報リテラシーに関する指導の充実	
進路指導	・個人面談やキャリアガイダンスにより、生徒の希望、適性を明確にする指導を推進した。生徒がより深く自分を理解し、自己有用感を持つことのできる指導の充実が必要 ・担任と分掌との連携を深め、組織的で系統的な指導を実践した。生徒の自己実現のために保護者の理解と協力、学校との連携が一層必要	○取組は極めて良好である。 ・実社会における自己実現を意識した指導が行われている。インターンシップや学校見学などの体験学習において、自己の適性や能力に気づくことのできる指導の充実を期待する。 ・タイムリーな情報提供及び保護者の立場に寄り添った対応を期待する。
改善方策	・早期に進路面談や体験学習を実施するなど、発達段階に応じて段階的に進路目標を具体化する指導の充実 ・保護者の協力を得るために、保護者向け進路情報の提供や魅力ある進路説明会等の内容の改善	
健康安全指導	・講演や便りを活用し、生徒における健康安全に係る対応力を向上させることができた。多様性を尊重する観点から、テーマの選択や取扱い方について一層の深化が必要 ・生活安全や防犯、防災に係る講演の実施により、実践的な対処方法等に関する知見を広げることができた。様々な想定に基づいた実効性のある体験やシミュレーションの実施が必要	○取組は概ね良好である。 ・自分や他者を大切にするために、自分と他者との相違点を受容する姿勢の育成を期待する。 ・地震や大雨・大雪などの自然災害の多発、不審者の校舎侵入事案等を踏まえ、実効性のある対応シミュレーションの実施を期待する。
改善方策	・生徒が抱える課題を把握し、教科での学習と関連づけ、専門的な講話等により実践力を育成 ・専門機関と連携し、教科での学習に関連づけた防犯・防災学習の充実、生命を守る行動等を育成	
公表方法	・本校ウェブページに掲載	